

## 新潟脳神経研究会特別例会の御案内

日時：令和7年2月20日(木) 17:00～18:00  
場所：脳研究所 A棟 1階 検討会室

### 剖検脳から紐解く神経変性疾患



間野 達雄 先生

国立精神・神経医療研究センター神経研究所  
疾病研究第四部 室長

神経変性疾患の病態を明らかにし治療戦略を見出すには、まず患者脳で実際に起きている現象を捉える必要がある。孤発性疾患では、患者脳を観察・解析する帰納的手法が重要となり、遺伝性疾患でも遺伝子変異情報だけでなく脳組織を直接的に検証することが欠かせない。本研究では、オミクス解析から仮説を導き、細胞・動物モデルで検証した後、再び患者脳に戻って評価する循環的アプローチを用いて、神経変性疾患の病態理解を深めることを目指した。本発表ではいくつかの実例を示しつつ、皆様の多様な視点を取り入れながら議論を深めたいと考えている。

### アルツハイマー病 amyloid $\beta$ 蓄積



橋本 唯史 先生

国立精神・神経医療研究センター神経研究所  
疾病研究第四部 部長

近年アルツハイマー病老人斑を標的とした amyloid  $\beta$  ( $A\beta$ ) ワクチン療法によって早期アルツハイマー病患者の認知機能低下を抑制できることがわかり、 $A\beta$  の蓄積過程はアルツハイマー病発症の中核イベントであることが明らかになった。神経細胞から放出された  $A\beta$  は凝集核依存的に蓄積を開始し、脳内を拡大すると考えられている。本セミナーでは、 $A\beta$  蓄積過程について、生化学・病理学的研究によって得られた知見を共有し、神経変性を招来する機序について議論したい。

どうぞ奮ってご参加ください。

(担当：脳研究所 遺伝子機能解析学分野)

